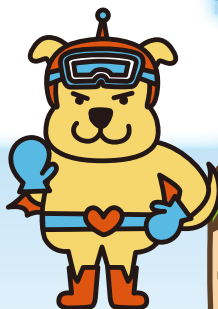


平成28年度

子供見守り活動 事例集



東京都



もくじ



チャレンジ！ 子供見守り活動！ …… 2

「プラス防犯」で誰でも今すぐ防犯活動 …… 2



現在の活動をレベルアップしたい方へ

町会・
自治会等

空地を有効活用！ 花壇づくりで防犯効果を高めた見守り活動 …… 3
〈あきる野市〉羽ケ田町内会

PTA

アンケートで明らかに！ 3つのステップで危険箇所を改善 …… 5
〈葛飾区〉子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会

防犯ボラン
ティア団体

学校がある日は毎日見守ります！ 助け合いで続く、防犯パトロール …… 7
〈清瀬市〉防犯パトロール野塩

民間
事業者

地域の安全・安心に貢献！ 民間事業者が取り組む「ながら見守り」活動 …… 9
（一社）東京都信用金庫協会 （株）セブン-イレブン・ジャパン

民間
事業者

パトロールコースは警察からの情報で！ 青パトで毎日巡回、犯罪抑止 …… 11
〈日野市〉日野自動車株式会社



活動をこれから開始したい方へ

町会・
自治会等

安全安心は自らの手で実現！ HPで情報発信するパトロール隊 …… 13
〈町田市〉小川自治会安全対策防犯パトロール隊

PTA

子供たちの安全を守る！ 現役世代の父親たちによる防犯ボランティア …… 15
〈足立区〉ガーディアンシップ北千住

民間
事業者

青パト活動、始めてみました 苦労したけど、喜ばれてます！ …… 17
〈江東区〉スーパーオートバックス東京ベイ東雲

大学生

地域のためにワンアクション！ 継続的に取り組む学生防犯ボランティア …… 19
〈日野市〉明星大学防犯ボランティア隊 MCAT



大東京防犯ネットワークをリニューアルしました …… 21

東京都青少年・治安対策本部長賞を創設しました …… 23

子供への犯罪傾向 …… 24

子供見守りのヒント（過年度の活動事例紹介） …… 25



チャレンジ! 子供見守り活動!

「子供見守り活動」とは、近年増加傾向にある子供の犯罪被害から、子供たちを守るためのボランティア活動のことです。

現在、都内各地で、町会や自治会、学校・PTA、警察、有志の防犯ボランティア団体の方々が、様々な活動を行っています。

多くの大人たちの目で見守ることにより、犯罪を未然に防ぎ、子供たちの安全安心と健やかな成長を支えます。本事例集では、現在の活動をさらにレベルアップしたい方や、これから活動を始めようとしている方の手助けのために、アイデア豊富な活動事例を紹介しています。



安全安心まちづくりを
推進するマスコットキャラクター
みまもりいぬ

「プラス防犯」で誰でも今すぐ防犯活動

花の水やりや犬の散歩、ジョギングなど、普段の暮らしの中での行動を防犯の意識を持って行うことが「プラス防犯」です。

上記の行動を子供たちの登下校の時間に合わせるだけで、団体でも個人でも今すぐに防犯活動を始めることができます。皆さんの活動で子供たちにとって安全安心な環境を作りましょう。

花の水やり



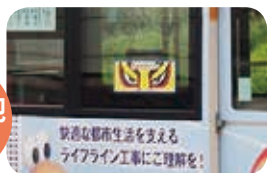
プラス防犯の
取組例

プラス
防犯

ワンワン
パトロール



「動く防犯
の眼」



ジョグパト



(ジョギングパトロール)

空地を有効活用! 花壇づくりで 防犯効果を高めた見守り活動



団体紹介

平成17年12月栃木県今市市で起きた女兒殺害事件をきっかけに、あきる野市からの依頼もあって活動を開始しました。子供の下校時間のパトロールを中心に、地域の清掃、花壇づくりとその管理などを行っています。開始当初のメンバーは約20名。その後若いメンバーも加わって現在は32名が活動しています。

「花壇づくり」活動のあらまし

市が主催する「花いっぱい運動」とも連携し、通学路の車道沿いと都道の空地、人家が乏しく見守りの目が少ない場所の計3か所に花壇を作りました。現在は長寿会と子供会の方々の協力を得ながら、管理・運営を行うとともに、見守り活動も行っています。

都道の空地を有効活用

平成12年に都道が完成して以降、歩道脇に棒杭で囲まれた空地があり、パトロールの都度、防犯上の危険を感じていました。この空地を花壇にし、定期的な管理を行うことで、見守りの目を増やし、子供見守りなどの防犯に役立てたいと町内会で考えるようになりました。

平成26年、都道を管理する西多摩建設事務所に問い合わせを行い、当面利用予定はないとの回答を受けたため、同年7月、花壇設置のお願いのため西多摩建設事務所を訪問、交渉の末、了承をいただきました。



▲ 空地だった頃の様子

西多摩建設事務所とは、花壇を管理運営する上で都民から苦情が出ないこと、管理運営費は町内会が負担することなどを条件とした「覚書」を取り交わし、2年ごとに更新をすることになっています。

その後、西多摩建設事務所の花壇設置工事を経て、花の植栽を町内会・長寿会・子供会で行い、同年9月、花壇が完成しました。



▲ 完成した花壇

継続的な管理・運営を実現するため、長寿会と子供会の協力を得て、共同管理を行っています。

＜花壇づくりのワンポイント＞

花壇づくりや花壇の管理を行う際、あえて色々な方に声を掛け参加いただくことで、多くの方に花壇に関心を持ってもらい、子供たちへの見守りの目を増やすよう心掛けています！

活動時、大変だったこと・印象的だったこと

花壇の管理運営費の捻出が大きな課題となりました。資源回収を年4回から6回に増やし、回収品目も新聞、雑誌、段ボールに加え、アルミ缶を追加しました。更に、回収量を増やす工夫として、町内会所有の土地と市の会館の土地の一部を借りて、仮置き場を2か所設置し、各家庭で生じた資源を確実に集められる仕組みを導入しました。また、花壇に植える苗が不足した場合には、会員の自宅で種から育てた花を植えるなどし、管理運営費の削減にも努めています。

活動の成果

花壇の管理・運営を適切に行うことで、地域の目が行き届いているアピールとなり、不審者や犯罪の抑止に繋がっているのではないかと思います。花壇づくりを通じて多くの方々との交流が生まれ、地域住民との繋がりもできました。今では、子供やその親、地域の方々とあいさつを交わしながらパトロール活動も行うことができています。



▲ 小学校が年に1回「感謝の集い」を開いてくださり、招待されています

今後の展開・展望

花壇については、増やすより継続して運営できるようにしていきたいです。あまり手を広げると管理できなくなる恐れがあるので、今の3か所の花壇をしっかりと続けていこうと思います。防犯パトロールも強制ではなく、手を挙げた人だけで、出られるときに出来る人が、という形でこれからも続けていきたいと思っています。



▲ 週に3日、子供の下校時間に合わせたパトロールも行っています

読者の皆さまへ一言!!

我々の地域は基本的には安全なんです。ただ今までが安全だったからといって、これからもずっと同じとは限りません。黙っていても平和や、安全安心はいつまでも続かないんだということを伝えたいですね。

アンケートで明らかに！ 3つのステップで危険箇所を改善



団体紹介

「子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会」は、大人のまなざしと地域の力で子供たちの生活環境を安全なものにしていく活動の推進、普及を目的に区全域から青少年委員やPTAのOB・OGなどが集まり平成22年に発足しました。

平成24年度からは生涯学習課と共催でこの取組を学ぶ講座の企画運営、PTAなどを中心に取り組む団体への指導・支援を行っています。今までに区内小中学校73校中54校で「3つのステップ」活動を実施しています。

「3つのステップ」活動のあらまし

公園や道路、商店街、駅、駐車場、集合住宅など、子供たちが危険に遭った場所をアンケートから明らかにして、町の中に潜む危険を改善するための対策を考え、実行していく活動です。小・中学校のPTAが中心となり、青少年育成地区委員会や町会・自治会等と連携を図りながら活動を進めています。

第1ステップ：犯罪の実態を明らかに

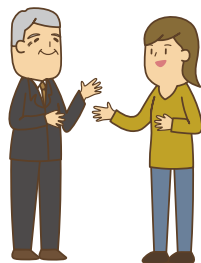
子供たち（小学校は4・5・6年生、中学校は全学年）から、危険な目（不審者からの声掛け等）に遭った場所についてのアンケートを取り、いつ・どこで・どのような危険に遭ったのか犯罪の実態を把握し、学区の地図にその場所を印し「犯罪危険地図」を作成します。危険箇所は年々変わっていくので、子供たちへのアンケートは3年ごとにを行い、「犯罪危険地図」を更新しています。



▲ アンケート集計の様子

第2ステップ：ワークショップで環境改善計画を作成

町会・自治会や青少年育成地区委員会など地域に呼び掛け、地域の方と一緒に犯罪危険箇所を実際に歩いて点検し、なぜ危険なのかという要因と、どうすれば安全になるか話し合い（ワークショップ）を行い、環境改善計画を作ります。



第3ステップ：実行計画を作り、まちづくりの取組を進める

自分たちでできることとあわせて、様々な対策を実行していくために、区の道路補修課や公園課、警察などの関係行政機関の担当者と懇談し、アドバイスを得て、計画を練り直し、子供たちが危険に遭いにくい地域環境にするために改善活動を行っています。

また、PTAや青少年育成地区委員会等の団体を対象として、「3つのステップ」を円滑に進めていくために必要な知識や心得などを学習するための講座を行っています。

＜活動が続けるための心掛け＞

学校・PTA・町会も時代とともに多忙感が増し、負担感が大きくなってきています。推進会は、青少年委員・PTA出身者、それぞれの強みを活かし、学校・PTA・町会が本活動に取り組む場合にきめ細かい支援を行っております。



▲ 講座の様子

活動時、大変だったこと・印象的だったこと

「3つのステップ」を学ぶ講座は全6回行っていますが、PTAの方々は忙しく、全てに参加いただくというのはなかなか難しい状況です。しかし、実際に学ぶことで得られる危険箇所の見方や、大人の責任として安全な町にしていく機運を高めていく必要性を伝えるとともに、学校・地域・行政との繋がりができる楽しさ、地域の歴史や文化を知る楽しさも伝えることで、活動をご理解いただき、参加率を上げていきたいと考えています。

活動の成果

- 子供の姿が隠れて見えない歩道橋の柵がありました。防犯上危険と判断し、半透明に改善しました。
- 公園の遊具やベンチに落書きされているものがありました。子供たちが遊具やベンチに絵を描いたところ、落書きがされないようになりました。



▲ 絵を描いた遊具

今後の展開・展望

青少年委員や地区委員の方々と連携して、本活動の参加者を更に増やし、子供への犯罪（窃盗犯、風俗犯、粗暴犯）防止を今以上に幅広く展開していきたいと考えています。また、交通事故防止にも取り組み、子供たちが親になったとき『ここ葛飾区で子供を育てたい』と思える安全安心なまちづくりを目指しています。

読者の皆さまへ一言!!

子供は地域の宝！子供たちが危険な目に遭わないように、大人が中心となって取り組むことが大事だと思います。最終的には大人も含め、安全安心に暮らせる町にしたいと考えております。



▲ 会長の白石さん

学校がある日は毎日見守ります！ 助け合いで続く、防犯パトロール



団体紹介

活動立ち上げのきっかけは、当時子供に対する犯罪や不審者が増えてきたことや、頻繁に痴漢などの被害があったことなどから、防犯の必要性を感じた地域の有志が集まり、結成されました。平成14年1月に活動を開始し、現在は14名で活動しています。学校がある日は毎日パトロールを行っています。

見守り活動のあらまし

活動開始当初は、午後の早い時間と、子供の下校時間と、1日に2回パトロールを行っていました。しかし、人数の減少やメンバーが高齢化してきたこともあり、現在は小学校から市の青少年問題協議会を通して連絡をいただく下校時間に合わせて1回、午後2時半ごろから2時間程度活動を行っています。まず小学校付近の2か所に立って、定点で見守ります。我々が立っている場所を通る一年生については、なるべく全員見送ることにしています。一年生を見送った後、学区内を歩いて見回っています。

メンバーが着用している「東村山警察署」と記されたジャンパーは、活動開始の際、警察署からベスト・腕章等と一緒に支給頂いたものです。警察の名称の効果は抜群で、地域の方は我々の声掛けに安心して返事を返してくれています。



▲ 定点見守りの様子



▲ ジャンパーの背中には「防犯パトロール」の文字と清瀬市の名前も入っています

＜活動が続けるための心掛け＞

活動を強制しないことです。「週に何回は来てください」等の規則はありません。しばらく参加できていない人に「そろそろ参加しませんか？」と声を掛けることはありますが、基本的には各メンバーが時間があるときにだけ出てもらうことにしています。足が悪い人、不自由な人と一緒に歩くこともあるので、ルートは決めずに、学区内を臨機応変に回っています。



毎月第1土曜日に会議をして、翌月1か月分の予定を決めています。定例的かつ早い段階で予定を決めることで、メンバーにとって参加しやすい体制を作っています。急用が入って出られなくなった場合は、他の人が代わりに出るなど、お互いに助け合っています。

活動時、大変だったこと・印象的だったこと

学校から最初に帰ってくる子供と最後に帰ってくる子供では、時間に差があるので、あまり待ちすぎると歩いて見回る時間が少なくなってしまいます。いつまで定点で待っているかの判断が難しいところです。そこで、いつも遅くなる子供の顔をおぼえておいて、その子が帰って来たら、定点の見守りを終えて歩き始めるようにしています。



活動の成果

以前はよく不審者を見かけたという話を聞きましたが、最近はあまり聞かなくなりました。パトロールが犯罪抑止に繋がっているのではないかと思います。

子供たちは元気にあいさつを返してくれます。一年生の頃から毎日あいさつを交わしている成果だと思っています。

今後の展開・展望

- 今の状態を維持して長く続けていきたいと思っています。そのためには新しい人の参加も促進していきたいと考えています。
- 学区内に歩道の幅がすごく狭い場所があって、子供が5～6人集まると車道にはみ出して危険なので、道幅を広くしてほしいという要望を市に出しています。道幅が狭い所は他にもまだあるので、引き続き市へ要望は出しながら、子供たちが事故に遭わないよう注意していきたいと思っています。

読者の皆さまへ一言!!

何か活動を始めたいと思っている方は、まずは周りに声を掛けて誘ってみるとよいと思います。また、我々のようにジャンパーを着てパトロールをしている人からあいさつされたら、皆さんからもあいさつを返してほしいですね。それが活動している人にとって本当に励みになりますので。



▲ 代表の景山さん

地域の安全・安心に貢献! 民間事業者が取り組む「ながら見守り」活動

事業の趣旨

地域における見守りの目を増やすため、地域に密着した事業者に協力いただき、日常業務をしながら子供や高齢者を見守っていただく取組です。平成27年7月にスタートし、現在、18の事業者が東京都と協定等を結んでいます。東京都では、地域の実情に即したより効果的な見守りを実施するため、区市町村に事業者との個別協定の締結を働きかけます。

事業の概要(事業者は、業務形態に応じて実施可能な項目に取り組めます。)

①見守り要望箇所の走行

スピードを落として走行 → 周囲に存在を示すことによる防犯効果

②ヒヤリハット情報の共有

事業者・地域の持つ交通事故に関するヒヤリハット情報の共有

③高齢者への声掛け(あいさつ)

あいさつを交わすことによる犯罪の起きにくい地域づくり
顔見知りなど可能なところから始め、徐々に範囲を拡大

④住民の安全安心に係る異常を認知した場合の対応

保護など安全確保と関係機関への通報

⑤特殊詐欺チラシ等の配付・説明

チラシを渡しながらか被害防止の注意喚起を実施

⑥メールけいしちょう等への対応

事件発生情報受信時の現場付近走行 → 連続発生の防止効果



「ながら見守り連携事業」用ステッカー

都民の皆さまに「ながら見守り連携事業」の趣旨をご理解いただき、協力事業者が円滑に活動できる環境を整えるために、象徴となるステッカーを作製しました。店舗、車両等に貼って活動を行っております。

<車両用>



<店舗用>



安全安心まちづくりを
推進する
マスコットキャラクター
「みまもりいぬ」

※角度によって2種のデザインが変わります。

実際の活動事例紹介

荒川区しんきん協議会の「ながら見守り」活動

活動のあらまし

平成27年9月に、都内では第1号として荒川区と荒川区しんきん協議会が「荒川区ながら見守り活動に関する協定」を締結しました。その後準備を進め、平成28年1月に区役所前で出発式を行い、ステッカーを貼ったバイクや自転車で活動を開始しました。



子供・高齢者への声掛け（あいさつ）

担当地区を毎日回っておりますので、以前から地域の方々とはお互いに「こんにちは！」「〇〇さん元気？」などとあいさつを交わす関係でした。日常業務の中で自然と築いてきた良好な関係が、地域の安全安心に繋がっているのではないかと思います。

「メールけいしちょう」※への対応

不審者情報がメールで配信された際は、不審者が出た場所を回っている営業担当者に「〇丁目の公園で不審者が出たので注意するように」などと連絡することで、担当者は付近を通る際、注意しながら走行しています。

※警視庁で運用している、各地域で発生した「犯罪発生情報」や犯罪を防ぐために必要な「防犯情報」等が登録者へメールで配信されるシステムです。

セブン-イレブン 新宿筑土八幡町店の「ながら見守り」活動

活動のあらまし

平成27年12月に協定を結びました。当店は、近隣への配達注文が比較的多く、自転車や徒歩でお届けしています。配達時には、常連のお客様だけでなく、子供や高齢者の方にも「こんにちは」と声を掛けています。



▲ステッカーを貼った自転車で配達しています

子供・高齢者への声掛け（あいさつ）

配達時は、こちらから積極的にあいさつをして、顔をおぼえてもらうよう心掛けています。結果として店舗への信頼感が増し、何か困ったとき、子供も安心して駆け込める場所となるのではないのでしょうか。

住民の安全安心に係る異常を認知した場合の対応

ある日、不安そうな顔をした子供が店舗に駆け込んできました。話を聞くと「近くで変な人に追いかけられたので逃げ込んできた」とのことでした。店舗で保護し、家の場所を尋ね、道すがら、学校のこと、今日あったことなどを話しながら落ち着かせ、送り届けました。その後、親御さん、小学校の先生、警察署からお礼のあいさつをいただきました。

パトロールコースは警察からの情報で！ 青パトで毎日巡回、犯罪抑止



団体紹介

以前より、本社・日野工場周辺の道路において、カーブミラー清掃等の防犯活動に取り組んでおりました。日野警察署より防犯活動の一環として、青パト活動を始めては、との打診をいただき、平成24年に「スーパードルフィンパトロール隊」を結成、翌年7月に活動を開始しました。97名でスタートしたメンバーは現在146名。警察署と連携しながら、毎日パトロールを行っています。

「青パト」活動のあらまし

青パト用の車両は、白と黒で塗装した中に、イルカのデザインを盛り込みました。「スーパードルフィン」※と名付け、平日は毎日、下校時間帯を中心に約50分程走行しています。回るコースは、日野市内25の小中学校の学区を巡る複数のコースを設けています。平日の夜と土日、休日は会社の周辺を回っています。

※日野自動車が以前販売していた大型トラックの名称にちなんで名付けられました。



▲ パトロールの様子

活動マニュアル

- 活動時はベストを着用。何かあったときに警察に連絡をする携帯電話は必須です。車には無線とドライブレコーダーを装備しています。
- 1年の当番表を作ります。1回のパトロールは2、3人。ひとり当たりの年間活動数は2回程度で、各人負担にならない回数で無理のない活動ができています。
- モチベーションを高めるために、年に1、2回、社内で活動報告会を行っています。

警察との連携

活動開始の際は、日野警察署にて出動式を行いました。その後も警察とは密に連絡を取り合い、連携を図っています。一時期とある地域で空き巣が多発していた際は、警察が分析した犯罪発生状況に基づいたパトロールコースの変更依頼があり、対応しました。

新しいメンバーが入った際には、青パトの講習会を開いていただいています。



▲ 出動式の様子

活動時、大変だったこと・印象的だったこと

パトロールのコースづくりに苦労しました。子供たちがどの時間帯にどんな場所にいるのか、いろんなコースを繰り返し走って試しながら作成しました。

活動の成果

日野市は比較的、平穏な町です。パトロール中に何か事件にでくわしたことは、ほとんどありません。青パトが抑止力になっているのだと自負しています。また自転車に乗りながらスマホをしていた人が、青パトに気付いてやめたりするのを、実際目にします。事故防止にも役立っているのではないのでしょうか。



今後の展開・展望

犯罪を起こすような人は、地域パトロールの様子などをよく観察していて、いつごろ青パトが回ってくるか計算していると警察で教わりました。対策として、臨機応変に時間帯やコースの変更ができればと考えています。

子供たちの生活環境が昔とはずいぶん変わりました。コンビニの前にたむろしていたり、夜遅くまで町を歩いていたりする子供が目につきます。そういった子供たちへの対応も今後、検討していきたいと思います。

読者の皆さまへ一言!!

日野自動車では車を用いたパトロールを行っておりますが、それぞれの企業・事業所の業務の特性に絡めた取組にできるとよいのではないかと思います。また、活動の先を見据えた内容で取り組むことで、長く続けていける活動となるのではないかと思います。

安全安心は自らの手で実現! HPで情報発信するパトロール隊

活動を始めたきっかけ

交通量の多い土地柄で、空き巣の被害が多く、住民からは不安の声が多く出ていました。そんな状況下で自治会の中から「何か防ぐ手はないか」という声上がり、平成17年4月にパトロール隊が結成され、徒歩でのパトロールを開始しました。



▲ 小川自治会安全対策防犯パトロール隊の皆さん

活動立ち上げ時の様子

自治会の会議の場でパトロール参加への呼び掛けを行いました。最初は住民の中で防犯意識が高まっていたこともあり、小川1～4丁目合わせて約350名の方が参加してくださいました。

<立ち上げ時大変だったこと>

当初はたくさんの人が集まってくれましたが、活動が続くにつれ、日中働いている方などもいたので、段々と人数が減少していきました。パトロール活動の補完・補強の必要を感じて、青パトを使ったパトロール隊を結成することにしました。また、地域の更なる防犯意識の向上と情報共有を図るため、自治会のHPを開設しました。日々の活動内容や成果を掲載し、メンバー間、地域の方々との情報共有を進めるとともに、新たな参加者も募りました。



▲ 自治会のホームページ

ベスト、誘導灯、のぼり旗は、自治会費の積立金で購入しました。しかし、青パトの購入費、改修費（白黒に塗装、回転灯、アナウンス用スピーカーの設置）、維持・管理費などは、自治会費だけではまかなえず、老人会と子供会で行っていた資源回収に参加させていただくことにしました。資源回収業者と提携して行っているもので、回収で得た資金は老人会、子供会、自治会で三等分しています。この資金と自治会費とを合わせて活動資金にしました。

）立ち上げ時（又は活動当初）嬉しかった・楽しかった話

我々の活動が認知されていくにつれ、子供たちがあいさつを返してくれるようになったり、地域の方が「いつもご苦労様です」と声を掛けてくれたのは嬉しかったですし、活動する上での励みにもなっています。活動当初と比較して、子供を狙った不審者はほとんど出ていません。空き巣などの犯罪も激減しました。日々のパトロールが犯罪抑止になっているのだと思います。

）現在の活動の様子

・徒歩でのパトロール（週に9回）

小川1丁目、2丁目、3・4丁目の3隊に分かれて、月・火曜日：午前10時と午後4時、水曜日：午後4時と午後8時、木・金曜日：午後4時、土曜日：午後8時 午前、午後は4～5名、夜は10名程度で巡回しています。朝の登校時間帯には、交通量の多い交差点などに立って子供を見守っているメンバーもいます。午後は子供の下校時間や公園で遊んでいる時間と重なるため、地域内に複数ある公園もルートに含め巡回しています。



・青パト（1日1回）

2名以上1組で、時速15キロ程度で1時間程走っています。「子供の下校時、不審者に気を付けましょう」とアナウンスを流し、子供への注意を促すとともに、「空き巣注意」「防災」等の呼び掛けも行います。安全パトロール等を行っている小学校に通う保護者の方に、月に1回青パトに同乗していただいています。



・小学校で防犯教室開催

学校からの依頼を受け、徒歩パトロールや青パトについて、小川自治会の防犯活動を紹介する講義を行いました。

）これから活動を始めようと思う方に向けてメッセージ

行政、警察にたよるだけではなく、自分たちの町は自分たちで守っていかなければならないと思います。そういった姿勢があれば活動を長く続けられるのではないかと思います。パトロールは防犯だけでなく、歩くことによって自身の健康にも繋がります。パトロールを通して、自然と近所の方々と顔見知りになります。いざという時にもお互いが助け合えるのではないかと思います。

子供たちの安全を守る！ 現役世代の父親たちによる防犯ボランティア

活動を始めたきっかけ

千住地区の6つの小学校にはPTAの父親たちによるソフトボールチームがあります。学校対抗のリーグ戦などで親交のあったメンバーの間で、ある時当時足立区が刑法犯認知件数で23区のトップであったことが話題にのぼり、「自分たちの趣味で楽しむだけでなく、子供たちの安全のために何かできないか」などと話し合った結果、

「我々が防犯パトロールをしよう」ということになり、平成18年6月に発足しました。6つの小学校合わせて120名がメンバーとして登録されています。



▲ ガーディアンシップ北千住の皆さん

活動立ち上げ時の様子

まず足立区の危機管理課に団体結成の報告に行きました。そこでメンバー全員の意思を統一できるようなものが何かないだろうか？ と相談をしたところ、「Tシャツを作っては」とのアドバイスをいただきました。区から支援していただき、120名分のTシャツを作ることができました。帽子やベスト、ジャンパーなどは、年一回頂ける助成金で毎年少しずつ揃えていきました。120名が一度にパトロールすることはないので、Tシャツ以外は必要最低限の数を各学校に保管し、当番の日に取りに行き着用しています。



▲ Tシャツの背中には大きくロゴが入っています

<立ち上げ時大変だったこと>

発足してすぐに120名の方に登録いただけたわけではなく、当初は「ソフトボールだけやりたい」という方や「面倒だ」という方も何人かいらっしゃいました。やるからには団体で結束している意志を示さないと活動が長続きしないと考えていたので、各校の代表者にお話し、活動の意義を伝え、一人ずつ地道に説得していただきました。

）立ち上げ時（又は活動当初）嬉しかった・楽しかった話

パトロールを始めたことで、父親同士顔をおぼえて、町中で声を掛け合うことが劇的に増えました。子供と一緒に歩いているときに会えば、次にその子供が一人で歩いているときに〇〇さんの子供だとわかり、こちらも声が掛けやすいですし、子供も見ず知らずの人より、父親の知り合いから声を掛けられると安心なのではないかと思います。

足立区の刑法犯認知件数は、23区のトップだった頃の数から半分程に減りました。

）現在の活動の様子

・合同パトロール

毎月第2土曜日に6校合同でのパトロールを行っています。毎回約30名が集まり、午後8時から1時間程度パトロールしています。

駅前に集合し連絡事項や情報交換を行い、商店街を少し歩いた後、6校それぞれの学区域に分かれて歩きます。



・各学校ごとのパトロール

月1回程度できるときに、学校ごとにパトロールを行っています。

・青パト

毎週土・日に、6つの小学校でローテーションを組んで行っています。ルートはその日の担当メンバーにお任せし、千住地域一帯を回っています。

現役世代が中心なので、土日中心の参加しやすい日時にしており、平日の活動は強要していません。無理をせず、できるときに参加いただければいいというスタンスで行っています。もし急に行けなくなっても、参加できないことをあまり恐縮しないように、苦に思わないように、メンバーそれぞれが心掛けています。

）これから活動を始めようと思う方に向けてメッセージ

現役世代の方がパトロール活動等を行うというのは、なかなか難しいと思いますが、小さな活動でも、月に1回でもいいですから、有志を集めて始めてもらえたらと思います。そういった活動を見ている人はちゃんと見てますから、仲間に入りたいという人も出てくるかもしれません。そうやって活動の輪が広がっていくといいのではないかと思います。



▲ 代表の青砥さん

青パト活動、始めてみました 苦勞したけど、喜ばれてます！

活動を始めたきっかけ

町内会が毎週行っている地域清掃に平成13年から参加していました。それに加えて、車を扱う企業らしい地域貢献が何かできないかと考え、青色防犯パトロールを始めることにしました。



▲ メンバーの浅野さん(右)と神田さん(左)

青パト活動立ち上げ時の様子

湾岸警察署に相談したところ、「数か月間の徒歩によるパトロール実績」が必要との回答を受けました。早速、平成28年1月7日から徒歩によるパトロール活動を始め、週1回・約3か月間の活動を行いました。その後、警察署による青パト研修を受講し、念願の許可証を受けることができました。4月20日、警察署から提供を受けた腕章とベストを着用し、青色防犯パトロールを開始しました！



▲ 徒歩パトロールの様子

<立ち上げ時大変だったこと>

徒歩によるパトロールを始める際、ルートを決めるのに悩みました。パトロールをするからには効果的な見守り活動を行いたいという思いから、警察署の方に相談し、「大通りだけでなく、小さな路地も歩いてください」「ここは不審者情報が多いのでお願いします」といった助言や要請を取り入れながらルートを作成しました。



立ち上げ時（又は活動当初）嬉しかった・楽しかった話

青パト活動を認めてもらうため、最初に徒歩で始めた頃は、「この人たちは何をしているんだろう」というような目で見られていましたが、毎週続けていくうちに「いつもご苦労様です」と地域の方からあいさつしていただけるようになりました。以前より近隣の小学校からバザー等に声をお掛けいただいていたのですが、今では地域の夏のお祭りにも呼んでいただいています。

また、年に数回、警察署と一緒に会社の駐車場で防犯イベントを開催しています。車の盗難防止機メーカー様にもご参加いただき、盗難防止機の実演販売やピーポくんとお客さんとの撮影会を行いました。こうした活動を通じて、地域との繋がりがより深まり、安全安心をもたらしていくのではないかと考えています。さらに活動の成果として、社会貢献に対する社員の意識がより高くなったと感じています。



現在の活動の様子

毎週木曜日、2人1組で1時間半程度パトロールを行っています。通常走行と低速走行のルートを決め、住宅地などは防犯効果を高めるため、スピードを落とした見守りを行っています。また、車であることを活かして、広いエリアのパトロールを行っています。近隣小学校2校の前を通り、辰巳、豊洲を経由し、お台場にある小学校まで、約10kmのパトロールを行っています。現在のメンバーは10名で、月ごとにシフトを組んで活動を続けています。



▲ 車両に貼るステッカーは「防犯パトロール中!」の文字がよく目立つように注意して作製しました



▲ 車両巡回ルート

これから活動を始めようと思う方に向けてメッセージ

最初、防犯活動についての話は受け身で聞いていました。しかし、実際に活動を始めてみると、地域に貢献しているという達成感を得ることができ、活動に積極的に取り組めるようになりました。これは始めてみなければわからないことだったと思います。私共は地域貢献も企業の務めと考えております。皆さんも一緒に地域の安全安心を守りましょう！

地域のためにワンアクション! 継続的に取り組む学生防犯ボランティア

活動を始めたきっかけ

日野警察署の「防犯活動に若い力を」との要望に加え、警視庁及び文部科学省からの「若い世代による自主防犯活動への参加推進を図る防犯ボランティア支援事業」への協力依頼を受けたため、当時警察へ就職する学生も多くいたことから、日野警察署と協力して平成22年6月に23名の学生で結成されました。現在は40名で活動しています。MCATは「MEISEI COMMUNITY ACTION TEAM」の略で、「COMMUNITY ACTION」は「地域のために活動する」という意味です。



▲ 明星大学防犯ボランティア隊 MCATの皆さん

活動立ち上げ時の様子

授業の空き時間を利用して、パトロールをしながらのゴミ拾いや、小学校の校門の前に立って、下校時の子供見守りなどの活動を始めました。

日野警察署の方に防犯講習会を開いていただき、もし不審者を見つけても追いかけて、まず学校に連絡する、ゴミ拾いは人家の敷地内に入らないよう注意する等、パトロールにおける注意点を学びました。

<立ち上げ時大変だったこと>

地域住民ではない学生が、こうした活動をやっているのか、少し不安を感じていましたが、地域の方と実際に交流を続けるうちに不安は解消されました。



▲ 日中パトロールの様子

<活動継続のコツ>

同期や先輩、後輩たちと日頃からよくコミュニケーションをとっておくことで、活動を皆で楽しく行うことができます。また、先輩から仕事や活動の中で必要なことを教わったり、後輩に教えたりすることもスムーズに行えます。いつも一緒に楽しく活動している所を見せることも大切なのではないかと思います。

立ち上げ時（又は活動当初）嬉しかった・楽しかった話

子供たちが話しかけてくれたり、地域住民の方が、「お疲れ様です」、「いつもありがとう」と声を掛けてくださるのがとても嬉しいです。ハロウィンの時期には地域の方からお菓子を頂くこともあります。

平成26年には、日頃の地域安全活動や防犯ボランティア活動を高く評価いただき、警視総監賞を受賞いたしました。

現在の活動の様子

・防犯パトロール（日中・夜間）

日中は週に2～3回を目標にして活動しています。時間帯は午後の1時～4時の間。夜間は月に1～2回。時間は6時から1時間程度回っています。ルートは何通りか設定し、日によって変えています。

・下校時の見守り

授業の関係で行けないうちもありますが、毎週水曜日に校門の前に立って、1時間程下校時の子供を見守っています。



▲ 下校時の見守り

・防犯講習会

年に一度、その年の代表が隊員全員に向けての防犯講習会を行っています。そこでは紙芝居をやる方や、警察の方から教わる護身術など、楽しいものも取り入れつつ、防犯について学んでいます。

・地域との連携

ボランティアセンターが窓口となり、警察や市と連携し、駅前防犯イベントや地域のお祭りに参加しています。防犯活動以外にも、地域清掃などに参加することで、地域の方と「顔の見える関係」を作ることを心掛けています。こういった日頃の積み重ねが地域のより強い「防犯力」に繋がるのではと考えています。

これから活動を始めようと思う方に向けてメッセージ

「防犯」と聞くと堅いイメージで、学生の人たちからすると一歩踏み出すのは勇気がいるかもしれません。けれど一歩踏み出せば、想像以上に自分の世界が広がると思います。私は防犯ボランティアに参加することで、積極的になり、成長することができたと思っています。これからの防犯には若い力が必要です。一度きりの学生生活、ぜひ防犯ボランティアに取り組んでみてください。



▲ 隊長の寺岡さん

大東京防犯ネットワークをリニューアルしました

東京都青少年・治安対策本部では、都民や防犯団体等と地域の防犯情報を共有し、パトロールなどの活動に役立てていただくため、防犯ポータルサイトを管理・運営しています。

本サイト（平成17年度から運営）は、平成28年10月にWEB-GIS（地理情報システム）を導入し、リニューアルしました。新たに6つのマップにより、地域の防犯情報や東京都や区市町村における安全安心まちづくりの取組をわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください！！



(URL : <http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>)

大東京防犯ネットワーク

検索



QRコード

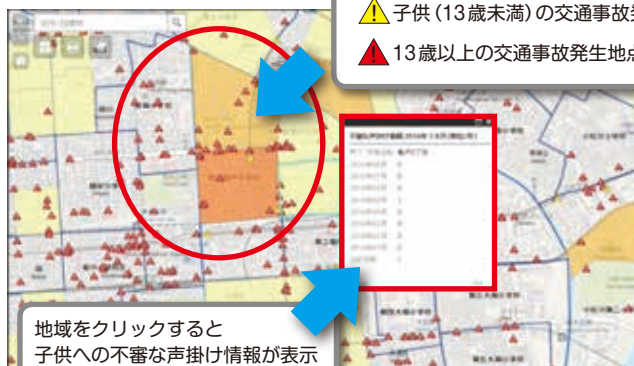


- ①子供の安全マップ
- ②特殊詐欺マップ
- ③町丁字別犯罪情報マップ
- ④防犯団体活動情報マップ
- ⑤施策情報マップ
- ⑥放置自転車マップ

「①子供の安全マップ」について紹介

子供に関する情報がマップに表示されます。

交通事故の発生地点や、不審な声掛け件数を町丁字別色分けマップで表示します。



学校や児童館等の詳細情報も表示されます。



- : かけこみ110番
- : セーフティステーション情報
- : 公園 : 児童館
- : 小学校

グラフ集計もできます。



選択エリアの不審な声掛け情報について、「(最新1か月) 最近発生した場所はどこ？」をクリックすると…マップで場所を、グラフで件数を確認

パトロールマップも作成できます。



パトロールルート进行自分で作成できます。(距離・面積が自動計算) 地域の犯罪件数も確認できます。

自 「自転車盗」
 ひ 「ひったくり」
 住 「空き巣」等住宅への侵入窃盗
 声 子供への不審な「声掛け」等

※ パトロールマップの作成は
 ④ 防犯団体活動情報マップ

その他、特殊詐欺や地域の犯罪情報などもマップでご覧になれます。

東京都青少年・治安対策本部長賞を創設しました

都内では、約4千の防犯ボランティア団体が地域の防犯活動に取り組んでおり、こうした活動は、都内の刑法犯認知件数13年連続の減少など東京の治安向上に貢献しています。

東京都では、このような地道な活動を行っている団体等に対し、感謝の意を表するため、今年度新たに「青少年・治安対策本部長賞」を創設しました。

本部長賞は、表彰状と感謝状の2種類の賞があり、毎年、区市町村の推薦に基づき、都が贈呈します。

【表彰状】

長年、防犯活動を継続的に実施している個人・団体や、地域の安全安心に関して模範となる先駆的な防犯活動を実施している個人・団体を表彰します。

この賞は、朝夕のパトロールなど、長年地道な活動を継続している地域の皆さんを励ますとともに、それぞれの活動の活性化の応援になればと創設したものです。

【感謝状】

1年以上防犯活動を実施している団体を表彰します。

この賞は、活動歴がまだ浅い団体が、長く継続的に防犯活動を行っていただくモチベーションに繋がればと創設したものです。対象とする団体には、ワンワンパトロールやジョギングパトロールを行っているグループ等も想定しています。

第1回表彰式

平成28年10月11日、第一回目の表彰式を都庁都民ホールで開催しました。青少年・治安対策本部長から表彰状を19団体・34人に、感謝状を40団体に贈呈させていただきました。



▲ 表彰状受賞者の皆さま

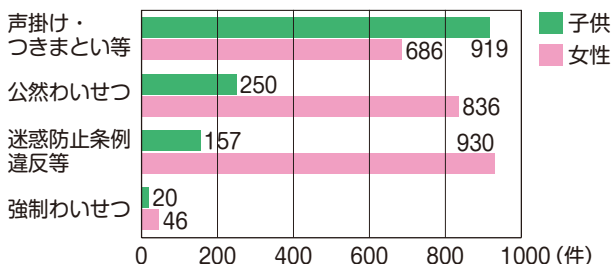


▲ 感謝状受賞者の皆さま

子供への犯罪傾向

○ 子供や女性に対する声掛け・つきまとい等の前兆事案の発生状況

平成28年中の子供や女性に対する声掛け・つきまとい等の前兆事案に関する報告件数は3,844件で、平成27年と比べると517件増加しました。

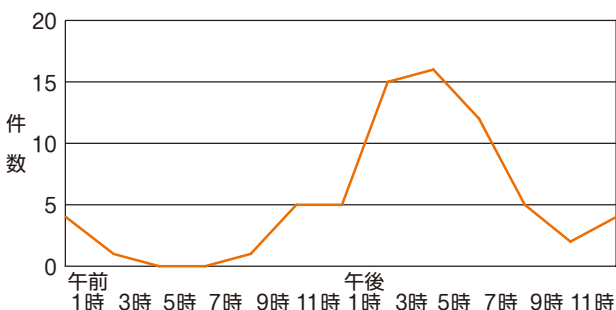


都内では13歳未満の子供に対する性犯罪（強姦、強制わいせつ）も発生しています。時間別、場所別の発生状況等（平成28年中）を以下に示しますので、日々の活動の参考としてください。

（※ グラフ構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。）

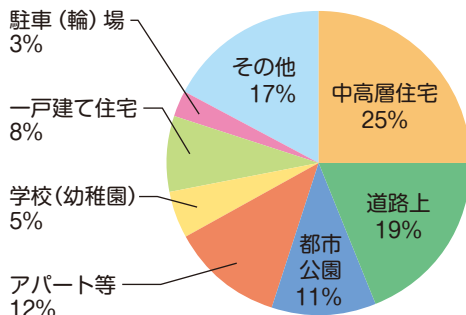
○ 時間別発生状況

13歳未満の子供に対する性犯罪の約6割は、下校時間帯（午後2時から午後7時）に発生しています。



○ 場所別発生状況

中高層住宅、道路上、都市公園で発生した事件が全体の5割以上を占めます。



〈本ページの統計は、警視庁生活安全総務課 集計〉

子供見守りのヒント(過年度の活動事例紹介)

活動の活性化

活動継続や仲間
づくりの工夫



- 還暦野球倶楽部オールドスターズ
(23年度・p16-17)
- 馬橋ご近所付き合い広目隊
(23年度・p22-23)
- 高井戸東地区防犯パトロール隊
(24年度・p8-9)
- 和泉ピースプラスワン
(24年度・p22-23)
- 明大前ピースメーカーズ
(25年度・p22-23)

花植え活動

植栽を通じた
子供の見守り



- 花畑地区前通り町会
(25年度・p6-7)
- 羽ヶ田町内会
(28年度・p3-4)

ワンワンパトロール

犬の散歩をしながら
子供の見守り



- 新高円寺わんわんパトロール隊
(23年度・p10-11)
- 牛込ワンワンパトロール隊
(24年度・p10-11)

子供110番の家等への 駆込み体験

子供の危機回避能力を
高める取組



- 中野区西町町会子供
と共に進む会
(23年度・p12-13)
- 学園東町・子ども見守り隊
(25年度・p8-9)
- セイフティ・ハロウィン実行委員会
(26年度・p7-8)

環境美化

落書き消しによる
防犯力アップ



- 柏木地区協議会
(25年度・p10-11)

危険箇所の点検・改善

子供が安全安心に
暮らせる地域づくり



- 南白糸台小学校と
その児童・PTA・自治会
(26年度・p11-12)
- 子どもを犯罪から守るまちづくり
活動推進会
(28年度・p5-6)



日頃の活動の参考としてください。過年度の子供見守り活動事例集は「大東京防犯ネットワーク」でご覧いただけます。

小学校との連携

小学校と円滑に
連携した取組



- 山王町会防犯パトロール隊
(26年度・p13-14)
- 聖ヶ丘子ども・おとしより見守り隊
(26年度・p17-18)

登校時の見守り

ユニークな
見守り活動



- 和田三丁目西町会
(24年度・p12-13)
- 鈴木孝雄さん ● 橋本豊明さん
(25年度・p17)
- 上ノ原まちづくりの会
(26年度・p15-16)

事業者の防犯活動

地域社会の一員
としての防犯活動



- 東京都信用金庫協会 セブン・イレブン・ジャパン
(28年度・p9-10)
- 日野自動車株式会社
(28年度・p11-12)
- スーパーオートバックス東京ベイ東雲
(28年度・p17-18)

地域団体との連携

行事を通じて
顔見知りを増やす取組



- 四谷地区青少年育成委員会
(23年度・p8-9)
- 子ども見守りチャレンジ事業実行委員会
(24年度・p6-7)

学生ボランティア

若い力による
子供の見守り



- 明治薬科大学マナーアップ委員会
(26年度・p21-22)
- 日本女子体育大学 校友会
(27年度・p17-18)
- 明星大学防犯ボランティア隊 MCAT
(28年度・p19-20)

子供の居場所づくり

世代間交流を活かした
居場所づくりの取組



- “がきんちょ”ファミリー
(24年度・p14-15)
- 下北沢・コーデ騎士団
(25年度・p14-15)

東京都では、防犯カメラや見守り活動に必要な装備品等への補助を行っています。
詳しくは「大東京防犯ネットワーク」をご覧ください。



平成28年度 子供見守り活動事例集

平成 29 年 3 月発行

編集・発行 東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 安全・安心まちづくり課
〒163-8001
東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号 第一本庁舎北塔34階
電話 03-5388-2282
ホームページ <http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>

登録番号 (28) 28

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。